

アフガニスタン

WARではなく WATERを

大かんばんつにあえぐ
アフガニスタンで
命の水を求め
井戸を掘り
用水路を拓く
日本人医師
中村哲



なか むら てつ

中村哲医師講演会in大分

日時：2017 **8月20日** 日

【開場】午後1時30分

【開演】午後2時～4時30分まで

講師：中村 哲 音楽ゲスト：ウイステリア・コール/スティールパン 宮川誠二

会場：ホルトホール大分 大ホール 【入場料】一般/500円
高校生以下/無 料
大分市金池南1-5-1 ☎097-576-7555

主 催：中村哲医師講演会実行委員会

共同代表：神戸輝夫(大分大学名誉教授)・石井久子(弁護士)・松本文六(医師)・高田三千尋(医師)

共 催：ペシャワール会

後 援：ホルトホール大分・大分合同新聞社・朝日新聞大分総局・毎日新聞社

◎お問い合わせ先：大分メノナイトキリスト教会 大分市中津留2-7-1(佐々木) ☎097-558-7861

■託児サービスあり。
※詳しくは裏面を

中村哲医師講演会に寄せて 「百の診療所よりも一本の水路を」

私がパキスタンのペシャワールに入ったのは2005年9月でした。この頃中村哲医師は医療活動に加えて2000年以来の大干ばつ対策として灌漑事業を行っていました。私は国境のカイバル峠に立ち、灌漑事業の行われている西北方面を眺めましたが霞んではっきりと見えませんでした。しかし伝統工法を駆使して行った灌漑路建設は着実に成果を上げ不毛となった大地を緑野に変えていたのです。国境の町ランディコトからは難民や家具を満載した多くのトラックが峠を下りアフガンに帰還していました。彼らは蘇った故郷の村に帰る人たちだったのでしょう。「飢えと渇きは薬では治せない。きれいな水こそが必要」との中村哲医師の言葉は胸を打ちます。講演会にご期待ください。

実行委員会共同代表 大分大学名誉教授 神戸 輝夫



よみがえる緑の大地



用水路と植樹された柳

■講師プロフィール

中村哲

1946年福岡県生まれ。九州大学医学部卒業。国内の病院勤務を経て、1984年パキスタン北西辺境州のペシャワール、ハンセン病棟に赴任しパキスタン人やアフガン難民のハンセン病治療を始める。その傍ら難民キャンプでアフガン難民の一般診療に携わる。2000年からは早魘が厳しくなるアフガニスタンで飲料水・灌漑用井戸事業を始め、農村復興のため大がかりな水利事業に携わり現在に至る。専門＝神経内科(現地では内科・外科もこなす)

●音楽ゲスト

大分市民合唱団 ウィステリア・コール

■プロフィール

1950年、故・藤沼恵が教え子を中心に結成した合唱団で、ウィステリア(藤の花)は創立者の名前に基づいています。1968年からは指揮者飯倉貞子のもと、さまざまな年齢・職業の団員が集い、定期演奏会とコンクールを中心とした活動を行っています。全日本合唱コンクールにおいては、2016年11月に25回目の全国大会出場を果たし、また、定期演奏会は今年で65回目の開催となりました。



●音楽ゲスト

スティールパン 宮川誠二

■スティールパンとは

トリニダード・トバゴ共和国生まれ、原材料はドラム缶。「20世紀最後のアコースティック楽器」日本には1960年代に伝わります。



●託児サービスあり

1歳以上/就学前のお子さんをお預かりします。
利用料/子ども1人につき:200円
以下を明記のうえ、Faxでお申込みください。締め切り7月末
「中村哲講演会 託児申込み」
参加者名(保護者名)子どもの名前(ひらがなで)・年齢・電話番号
申込先:FAX 097-503-8725 お問合せ電話番号097-569- 5908
グリーンコープ生協本部組合員事務局 池部まで



※ホルトホールの駐車場はございますが、満車になる場合があります。公共交通機関をご利用頂くか、お近くの駐車場をご検討お願い致します。